

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 23日は、高気圧がオホーツク海を南東へ移動する。前線が東シナ海から西日本付近にのびて、東シナ海の前線上に低気圧が発生する。
- 24日は、低気圧が日本海を北東へ進み、前線が日本付近を東へ進む。日本の南岸付近に別の低気圧が発生する可能性がある。
- 25日は、低気圧が北日本付近に進む。高気圧が東シナ海を東へ移動する。
- 26日は、低気圧が千島近海に進む。高気圧が日本の東へ移動する。前線が東シナ海から沖縄・奄美にのびて次第に北上する。
- 27日は、高気圧が日本の東を東へ移動する。東シナ海から沖縄・奄美にのびる前線は北上し、西日本に接近する。低気圧がアムール川中流・下流付近を東へ進む。

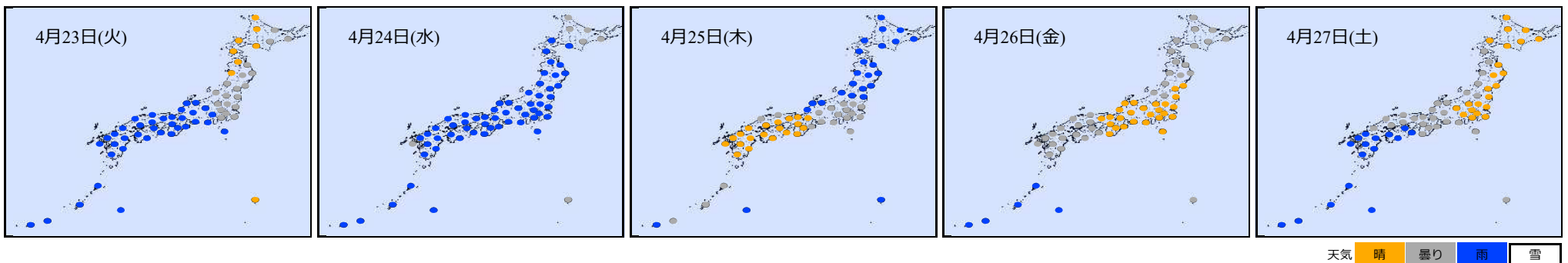
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 23日から24日は、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込む影響で、西日本から東日本の太平洋側を中心に降水量が多くなる所がある。
- 気温は平年より高い日が多く、かなり高くなる所もある。積雪の多い所ではなだれ等に注意。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

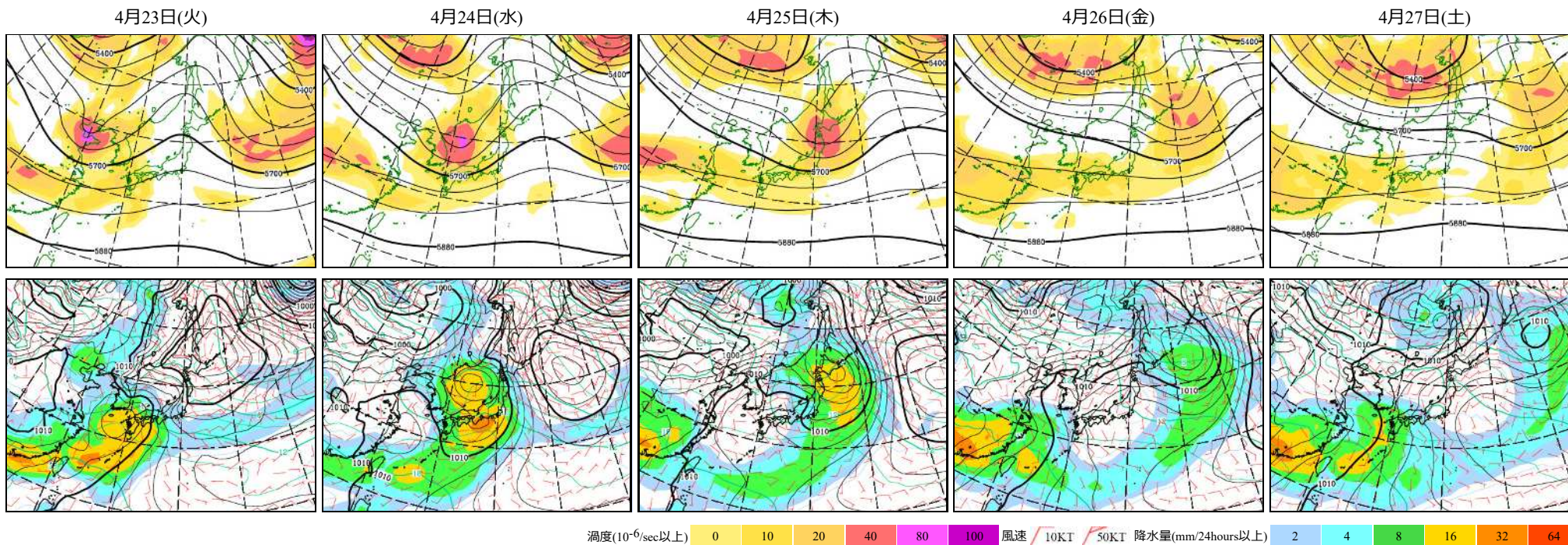
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

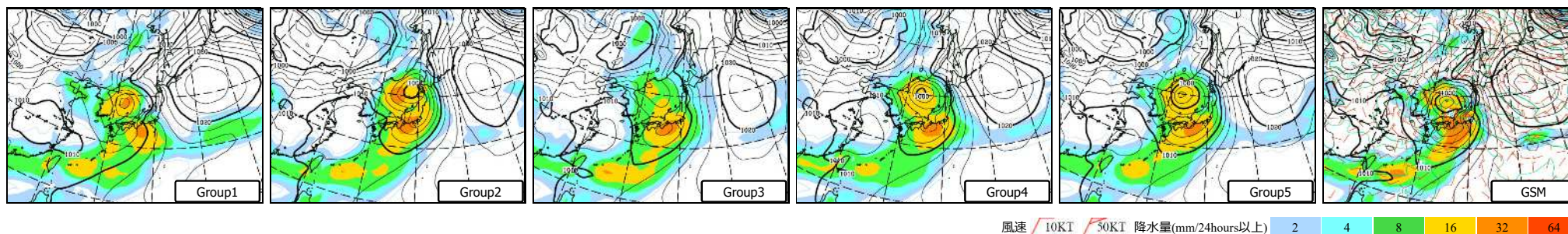


- 北日本は、23日と26日、27日は晴れや曇りだが、24日から25日は曇りで雨が降る。
- 東日本日本海側は、23日から25日は曇りで雨が降る。26日から27日は晴れや曇りとなる。
- 東日本太平洋側は、23日から24日は曇りで雨が降る。25日から27日は晴れや曇りとなる。
- 西日本は、23日から24日は曇りで雨が降る。25日はおおむね晴れるが、26日は雲が広がりやすくなり、27日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美では、曇りや雨の日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月24日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、23日から25日に日本付近を進むヘトラフは深めで、東進が遅めとなった。日本海に進む低気圧の東進は遅めとなり、低気圧は昨日予想よりも発達して日本海から北日本進む予想となった。
- 23日は西日本から雨が降り始める予想だが、降りをはじめについてはモデル間で差があり、東日本での降りをはじめは遅めになる初期値変わりをしたモデルが多い。24日は、各モデルとも南岸付近に別の低気圧の発生を予想しているが、発生する位置やタイミングは異なっている。
- その後、27日にかけて日本付近に進むリッジが明瞭になり、東・西日本付近を進む高気圧が明瞭になった。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新ENSを基に作成する。